



庁舎整備基本設計
庁舎整備検討市民委員会
ニュース

No.3

2016.11.5

袖ヶ浦市総務部 管財契約課（管財班）TEL 0438-62-2226

第3回庁舎整備検討市民委員会では、

先進地視察に行きました！

◎第3回庁舎整備検討市民委員会

10月26日（水）に開催された、第3回庁舎整備検討市民委員会では、東京都立川市と神奈川県茅ヶ崎市に視察に行きました。

立川市は、コンシェルジュと呼ばれる窓口案内係や、見通しのきく広いホールの窓口スペース、茅ヶ崎市では、遠くからでも一目でわかる総合案内、天然木の机やカーペットで優しく落ち着きのある雰囲気の議場がありました。

先進地の庁舎を実際に見て、委員の皆さんが思い描く庁舎が、イメージできたと思います。



写真：立川市役所庁舎の説明



写真：茅ヶ崎市役所庁舎の説明

庁舎整備検討市民委員会の流れ

第1回検討市民委員会 H28. 5. 17

- ・ 庁舎整備基本計画について
- ・ 最近の市庁舎整備の事例



第2回検討市民委員会 H28. 8. 9

- ・ 市民交流スペースの活用方法について



第3回 先進地視察 H28. 10. 26

- ・ 場所：立川市、茅ヶ崎市



第4回検討市民委員会 H28. 11. 18

- ・ 利用しやすい窓口や待合スペースについて



第5回検討市民委員会

- ・ 開かれた庁舎、議会について



第6回検討市民委員会

- ・ 庁舎平面プラン（案）に対する意見、要望



第7回検討市民委員会

- ・ 提案書の提出



第8回検討市民委員会

- ・ 基本設計プラン説明

◎先進地視察の様子

施設名	立川市庁舎
所在地	東京都立川市泉町 1156-9
敷地面積	11,000.41 m ²
建築面積	6,880.25 m ²
延床面積	25,981.60 m ²
階数	地下1階 地上4階
構造	プレキャストコンクリート造+鉄骨造 鉄筋コンクリート造
竣工年月	2010年3月



【食堂（3階）前・カフェ（1階）】

食堂は民間事業者が経営。地元食材を使ったメニューの販売や売り上げの一部を開発途上国に寄付する企画を実施している。

カフェは社会福祉協議会が経営している。



【市民窓口・番号音声案内システム】

案内係（コンシェルジュ）の他、番号音声案内システムを導入している。

市民の利用が多い窓口は1階に集約しており、来庁者の7～8割は1階で用事を済ませられる。



【屋上】

土日も市民に屋上を開放している。ソーラー発電設備により庁舎の使用電力の3%程度を賄っている。

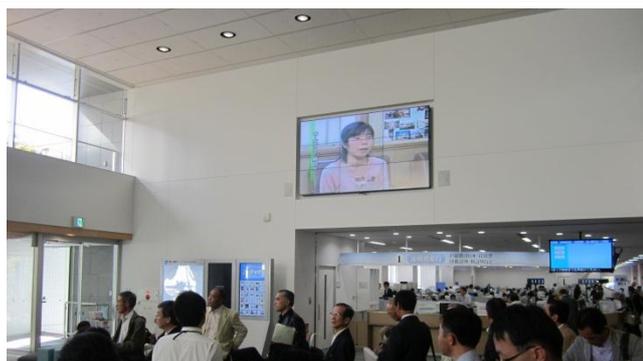


【議場・傍聴席】

議員席の取り外しが可能になっている。

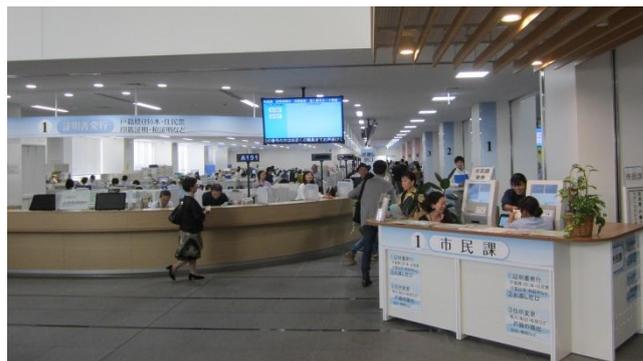
天井から、自然光を取り入れるようになっている。

施設名	茅ヶ崎市庁舎
所在地	神奈川県茅ヶ崎市 1-1-1
敷地面積	23,238.06 m ²
建築面積	3,505.02 m ²
延床面積	20,180.20 m ²
階数	地下1階 地上7階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
共用開始	2016年1月



【市民ふれあいプラザ】

2階までの吹き抜けの広いスペースで、休憩できる椅子、市のお知らせなどをする大型モニター、地元の特産品を紹介するショーケースなどがある。16時まで営業するカフェや外のテラスで休憩することが出来る。



【窓口・総合案内】

各課窓口は色分けと窓口番号でリンクさせ、用事のある窓口を探しやすくなっている。プライバシーに配慮し、窓口の間にはパーティションの仕切りがある。正面入り口には、目立つ総合案内がある。



【市政情報コーナー】

来庁者の目に留まりやすいように1階正面玄関に設置。パンフレットが種類別に整理されている。



【議場】

議場の様子を市民にも知ってもらうため、閉会中は多目的に使用することを想定している。演壇は車いす利用を配慮して昇降式となっている。

印象に残ったこと

- どちらも大変市民に開かれているという点で感心しました。袖ヶ浦市には美術館や小ホール（コンサート等の）、喫茶店がないことを考えると、庁舎という建物内部だけでなく屋外デッキや屋上、建物まわりの外側なども十分に工夫して生活感があるような憩いの場となる庁舎にしたいと強く思いました。
- 短い時間ででしたが市役所の大切な面を実感できた。
- **立川市**
 - 正面入り口の広くゆるい勾配のアプローチ
 - 電光掲示板が良い
 - ×節電中で蛍光管取り外し→暗い
 - コンビニと多目的プラザのつながり
 - 受付（案内人）の対応が良い
 - 男子による見回りが良い（腕章あり）
 - チラシなどの情報がすっきりしている
- **茅ヶ崎市**
 - 明るくすっきりとした外観
 - 電光表示、ワンタッチ案内を当市にも
 - ロビーの床材はこれが良い（大きな人造タイル）

感想・ご意見

- 見学先の職員の方、丁寧でわかりやすい説明をしていただき感謝です。
- 視察に行って良かった。そこで得られたアイデアやイメージを皆で持ち寄り実現したい。11月18日の委員会が重要なポイントになると考える。
- 当市の「市民サービス」に関するスペースを改めて視察したい。1階、2階、7階とできれば地下も
- 視察する場所が遠かった。市民委員会の回数をもっと多くした方がよりためになると思う。

質問

問1-1

現在、旧庁舎、議場、既存新庁舎に配置されている課などが、建替え庁舎のⅠ期・Ⅱ期のどちらに配置されるのかというのは、これから決定されるのでしょうか。

たとえば議場はⅠ期の建物に、教育委員会はⅡ期の方に・・・など決定済のものはあるのでしょうか。既存新庁舎のレイアウトがあまり変わらないとすると、そのあたりがどうなるのか気になりました。

答1-1

基本計画では市民の利便性に配慮して、市民利用の多い窓口機能と、みなさまに検討していただいた「市民交流スペース」を1階に配置することとしています。また、建替えとなる議場及び旧庁舎に配置されている議会ゾーンの他、災害対策部門については建替えⅠ期庁舎へ配置することとしています。その他の部署のレイアウトは未定ですが、今後、将来的なレイアウト変更にも対応できる執務室や会議室、収納スペース等の適切な配置を庁内検討委員会において検討し、働きやすい執務環境を計画します。

なお、市民アンケートにおいても利用の多い部署（85%以上）は「市民健康部」と「福祉部」であり、既存新庁舎の1・2階に配置しています。

問1-2

先進の市庁舎はさすがにうならせる出来上がりでした。当市の場合は新庁舎はいわば改築工事となるわけで、構造的な制約がある。更には耐震補強もあるので、今日視察してイメージを膨らませたが、果たしてどこまで実現できるか、プロの設計者のイメージを知りたい。そして、市民フロアは大改築により明るく、市民サービスが行き届いた、開かれた庁舎に生まれ変わることを確信した。

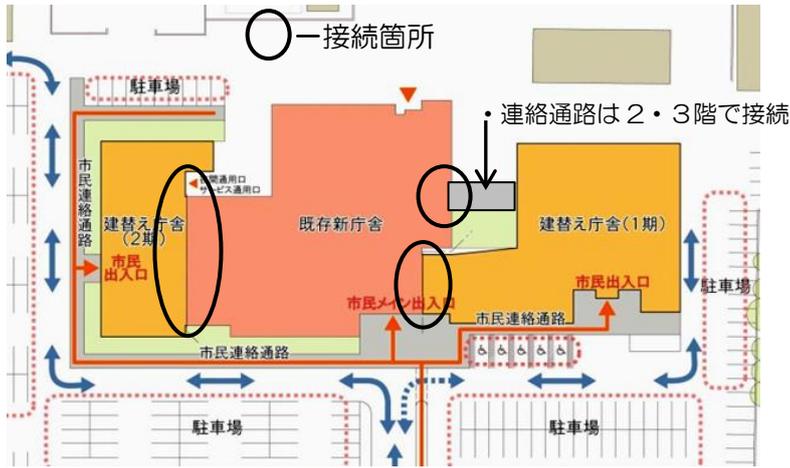
答1-2

視察した立川、茅ヶ崎市両庁舎の構造は、大地震に対応するため免震構造としており、茅ヶ崎市では、免震構造ではない既存庁舎と通路で接続していました。この免震構造は、免震装置（免震ゴム）で地震時の振動を吸収し、建物の揺れを小さくする構造であるため、免震構造でない建物との接続部は変位が大きくなり、破損する可能性が高くなります。

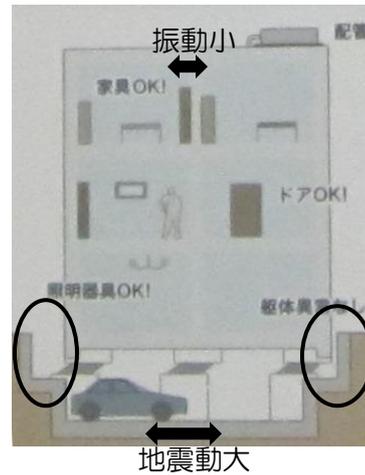
本市の建替え庁舎は、既存新庁舎と建替え各庁舎の1階での接続面が大きいいため、建替え庁舎を免震構造とすることが困難であることから、既存新庁舎同様に耐震構造とする予定です。

構造以外の計画では、先進事例を参考とし、市民委員会のご提案を基に「誰もが利用しやすい開かれた庁舎」を目指し、庁舎の再整備計画を進めてまいります。

また、平面プランについては、第5回または第6回の市民委員会において1階の平面プランをご提案する予定です。



既存新庁舎と建替え庁舎の接続箇所



免震構造概略図

問 1-3

誰でも市役所に行きたくなる明るく広いフロアの設置を希望する。

答 1-3

自然光や LED 照明等により明るいフロアを計画します。

問 1-4

市民生活に関係する窓口は 1 階に設置してほしい。

答 1-4

市民利用の多い窓口機能は、1 階に集約配置します。

◎次回の庁舎整備検討市民委員会開催予定

第 4 回検討市民委員会 H28. 11. 18

- ・ 利用しやすい窓口や
待合スペースについて

次回の庁舎整備検討委員会は、「利用しやすい窓口や待合スペースについて」というテーマで話しあっていただきます。今回の先進地視察で膨らんだ具体的なイメージを、市民委員の皆さんで共有し、話し合います。